

みやぎのだより

No. 134

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和5年6月9日



【撮影】白石・七ヶ宿支部 佐久間 幸枝さん（組合員：佐久間 英明さん）

CONTENTS

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う

対応について…………… 1

地区別説明会を4年ぶりに開催します…………… 2

令和4年度 生乳需給状況について…………… 3

令和5年度 組合事業の内容について…………… 5

乳価kgあたり10円値上げへ

4/1～学乳・乳製品向け 8/1～飲用・発酵乳等向け …… 7

生乳検査について…………… 8

PAG検査について…………… 9

いよいよ組合活動が本格的に再開されました! …… 11

みやぎの酪農家を応援!

牛乳消費拡大キャンペーンを実施しました! …… 12

牛乳普及協会ホームページの

リニューアルについて(お知らせ) …… 12

飼料情勢…………… 13

酪農後継者等育成支援…………… 14

人事のお知らせ…………… 14

理事会通信…………… 14

売りたいし、買いたいし…………… 15

編集後記…………… 15

新型コロナウイルス感染症 5 類移行に伴う対応について

1. 感染した場合の対応について

- ①酪農経営者、従事者及び同居家族に感染者が発生した場合は、必ず組合へ連絡してください。
- ②有症状者は発症日を0日として、特に他人に感染するリスクが高い5日間かつ症状軽快から24時間経過までは、外出を控えて様子を見ることを推奨します。
- ③症状が重い場合は医師に相談してください。
- ④無症状者であっても有症状者と同様に5日間は外出を控えることを推奨します。

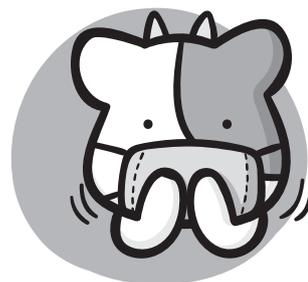
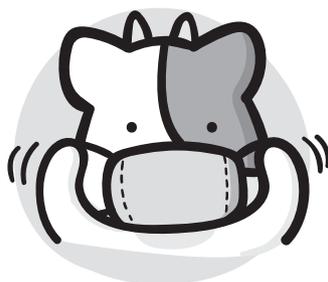
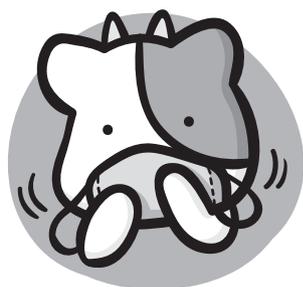
2. 感染した場合の作業について

- ①有症状者で作業が可能な場合は、感染拡大防止対策(マスク、手袋の着用等)を講じながら、生乳生産活動を継続してください。
- ②有症状者が作業を行うことができない(高熱等の重症)場合は、希望があれば酪農ヘルパーを優先的に派遣いたします。
- ③無症状者の場合は、感染拡大防止対策(マスク、手袋の着用等)を講じながら、生乳生産活動を継続してください。

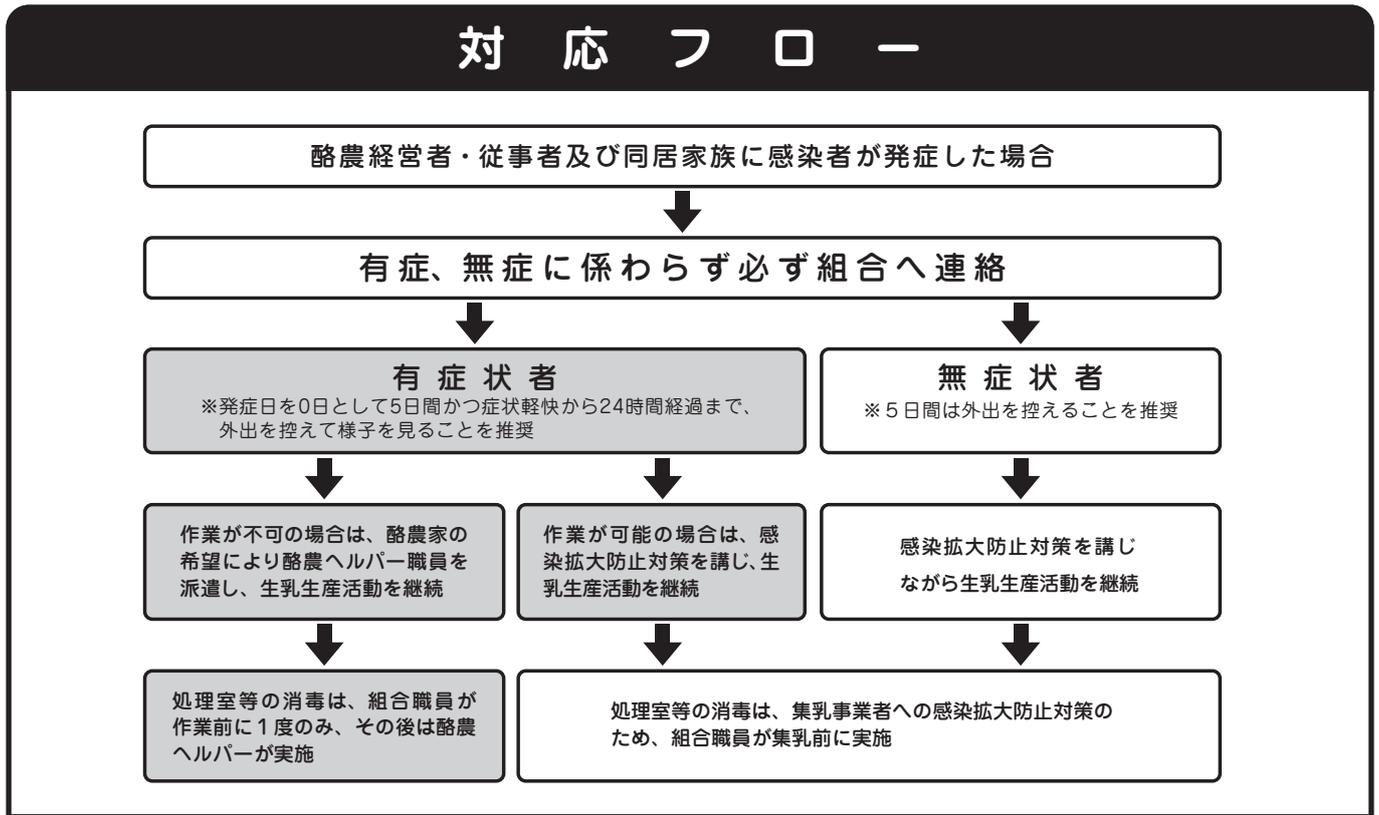
3. 感染した場合の施設等の消毒について

- ①処理室等の消毒は、集乳事業者への感染拡大防止のため、組合職員が集乳前に行います。

※新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありませんので、当分の間は人と人の距離を保ち、マスク、手袋等を着用するなど、基本的な感染拡大防止対策を徹底していただいた上で、生乳生産を継続されますようお願いいたします。



対応フロー



地区別説明会を4年ぶりに開催します

令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、地区別説明会の中止、通常総会は縮小した形で3年間開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症法の位置付けが変更されたことにより、今年度は4年ぶりに地区別説明会を開催し、通常総会は通常通りに開催いたします。

感染拡大防止対策を講じて開催いたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

区分	開催日時	会場	支部名
地区別説明会	令和5年6月12日(月) 午前10時30分	刈田郡蔵王町 【蔵王町ふるさと文化会館】 (ございんホール)	白石・七ヶ宿、 蔵王、柴田、 伊具、仙台、名取
	令和5年6月14日(水) 午前10時30分	登米市中田町 【登米市中田農村環境改善センター】	登米、本吉、 石巻、豊里
	令和5年6月15日(木) 午前10時30分	大崎市田尻 【大崎市田尻文化センター】	黒川、大崎、 遠田、加美、 鳴子、栗原
総会	令和5年6月26日(月) 午前10時30分	黒川郡大和町 【まほろばホール】	

令和4年度 生乳需給状況について

1. 全国

4月～3月の受託乳量は7,078,005㍓、前年同期比97.8%と前年を下回っております。地域別には、4月～3月計で北海道は2.3%減少、都府県においても2%減少となっており、令和元年度以来の減少傾向で推移しております。

新型コロナウイルス感染症の影響による牛乳・乳製品需要が低迷し、生乳の需給ギャップの解消が課題となり、入口対策として全国的に生産抑制に取り組んできました。また、乳業メーカーによる輸入乳製品の国産への置き換え等の出口対策を講じるなど、業界を挙げての消費拡大や生乳の需給ギャップ改善に取り組んでまいりました。

令和4年度 全国生乳受託実績

(単位:㍓、%)

地区名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和4年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
北海道	1,056,987	101.6	1,031,066	99.5	983,269	95.8	968,988	93.9	4,040,311	97.7
都府県	807,786	99.4	734,650	98.8	741,035	97.4	754,223	96.5	3,037,694	98.0
全国	1,864,773	100.6	1,765,716	99.2	1,724,305	96.5	1,723,211	95.0	7,078,005	97.8

※小数点以下を四捨五入しておりますので、合計値が一致しないことがあります。

2. 東北

4月～3月の受託乳量は493,123㍓、前年同期比98.3%となっております。

令和4年度 東北生乳受託販売実績

(単位:㍓、%)

県	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和4年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
青森	19,504	107.7	18,966	107.0	18,436	102.5	18,815	102.9	75,721	105.0
岩手	47,651	96.8	46,083	98.3	45,110	97.2	44,930	96.6	183,773	97.2
宮城	27,731	98.8	26,112	99.0	25,491	96.7	25,410	94.8	104,744	97.4
秋田	5,766	96.5	5,523	98.9	5,478	98.8	5,476	96.1	22,243	97.5
山形	13,166	102.4	11,951	103.4	11,585	98.3	11,903	94.5	48,605	99.6
福島	15,589	98.4	14,348	95.9	14,060	92.8	14,040	91.1	58,037	94.6
計	129,407	99.5	122,983	99.9	120,160	97.5	120,574	96.2	493,123	98.3

※小数点以下を四捨五入しておりますので、合計値が一致しないことがあります。

3. 用途別販売実績

東北の用途別販売実績は、4月～3月の飲用牛乳向け348,070㍓、前年同期比97%、特定乳製品向け56,269㍓、前年同期比100.7%となっております。その他の用途別については、はっ酵乳等向け80,551㍓、前年同期比101.8%、生クリーム等向け6,512㍓、前年同期比102.6%、チーズ向け1,721㍓、前年同期比104.5%となっております。

令和4年度 東北用途別販売実績

(単位:㍓、%)

用途	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和4年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
総受託販売乳量	129,407	99.5	122,983	99.9	120,160	97.5	120,574	96.2	493,123	98.3
飲用牛乳向け	89,829	96.7	87,972	98.1	86,972	97.0	83,297	96.3	348,070	97.0
	21,868	101.0	20,388	106.1	18,983	100.6	19,312	99.7	80,551	101.8
特定乳製品向け	15,817	115.3	12,726	103.5	11,672	95.3	16,054	91.2	56,269	100.7
	1,453	105.5	1,513	98.2	2,067	102.9	1,480	104.0	6,512	102.6
チーズ向け	441	105.4	384	95.2	466	106.3	430	111.2	1,721	104.5

※小数点以下を四捨五入しておりますので、合計値が一致しないことがあります。

4. 宮城県

4月～3月の受託販売乳量は104,743㍓、前年同期比97.4%と前年より2.6%減少しております。また、3月の出荷戸数は358戸と前年より35戸減少しております。

令和4年度 宮城県生乳受託販売実績

(単位:㍓、%)

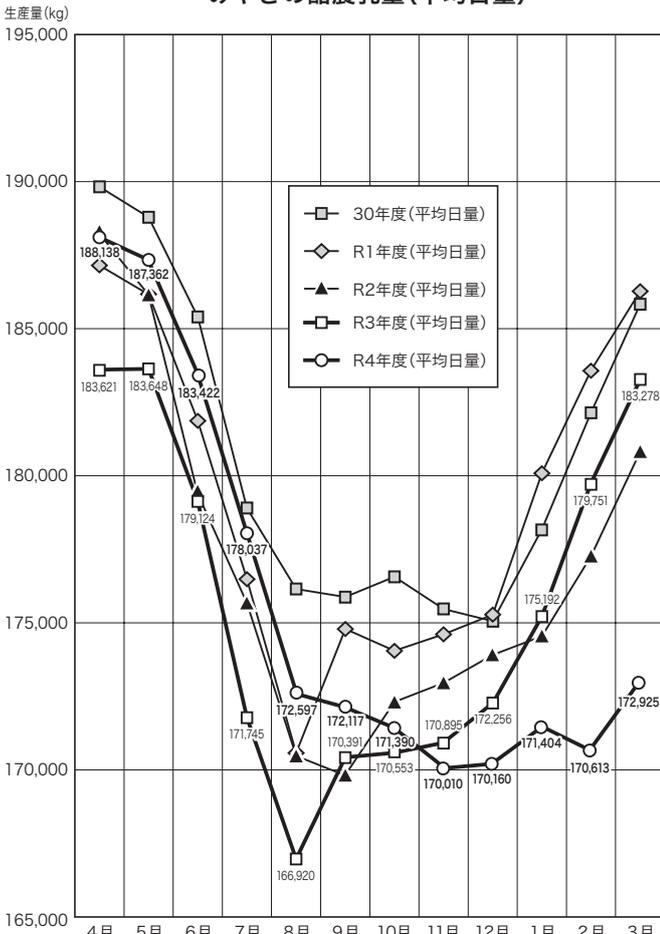
団体名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		令和4年度計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
みやぎの酪農	16,885	102.1	15,964	102.4	15,630	99.5	15,460	96.3	63,939	100.1
全農 宮城	4,102	92.3	3,726	91.6	3,535	89.2	3,566	88.0	14,929	90.3
宮城酪農	6,745	95.5	6,422	95.4	6,326	94.6	6,383	95.5	25,876	95.3
宮城県	27,731	98.9	26,112	99.0	25,491	96.7	25,410	94.8	104,743	97.4

※小数点以下を四捨五入しておりますので、合計値が一致しないことがあります。

5. みやぎの酪農(バルク乳量)

4月～3月の受託乳量は64,128㍓、前年同期比100.07%と前年並みに推移しております。また、3月の出荷戸数は209戸と前年より17戸減少しております。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和4年度生乳生産実績(4月～3月 標準進捗率100%)

(単位:kg、%)

支部名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	22	8,668,531.7	8,574,817.7	101.09	8,699,073.1	99.65
蔵王支部	24	8,416,490.0	8,744,025.5	96.25	8,870,732.9	94.88
柴田支部	12	3,711,671.0	3,836,606.0	96.74	3,892,201.2	95.36
伊具支部	14	4,457,134.0	4,512,711.0	98.77	4,578,103.5	97.36
仙台支部	9	3,427,444.0	3,785,631.3	90.54	3,840,487.9	89.25
名取支部	3	653,990.0	747,553.0	87.48	758,385.6	86.23
黒川支部	5	782,064.0	968,134.0	80.78	982,163.0	79.63
大崎支部	18	3,213,734.0	3,391,174.0	94.77	3,440,314.6	93.41
遠田支部	12	9,854,156.0	7,413,110.0	132.93	7,520,531.4	131.03
加美支部	9	1,691,429.0	1,881,613.0	89.89	1,908,879.0	88.61
鳴子支部	8	1,731,724.0	1,858,153.0	93.20	1,885,079.0	91.86
栗原支部	26	5,752,727.0	6,406,389.0	89.80	6,499,222.3	88.51
登米支部	23	7,246,058.0	7,340,009.0	98.72	7,446,371.1	97.31
本吉支部	9	1,310,061.0	1,520,915.0	86.14	1,542,954.2	84.91
石巻支部	5	663,087.0	728,016.0	91.08	738,565.5	89.78
豊里支部	10	2,547,599.0	2,376,468.0	107.20	2,410,904.8	105.67
みやぎの酪農	209	64,127,899.7	64,085,325.5	100.07	65,013,969.0	98.64

※出荷戸数については、直近の数字です。

※小数点以下を四捨五入しておりますので、合計値が一致しないことがあります。

令和5年度 組合事業の内容について

販売課

長期化するコロナ禍において生乳需給は緩和状況が続いている中、配合・粗飼料等あらゆる生産資材の高騰から酪農経営は危機的状況にあります。

令和5年度の販売事業では、自主規制格差金を原資として、酪農経営支援および乳質改善の両面からの地位向上を図ることを目的として次の対策を行います。

● 令和5年度酪農経営支援対策事業【拡充】

目的：急激な円安による穀物相場の高騰等により、酪農経営を取り巻く環境が益々悪化してきた中、生産現場では飼料・肥料・燃油など生産資材の増嵩によりかつてない厳しい経営環境下にあり、生産現場の危機的状況の中、組合員負担の一部を支援します。

内容：支援単価はkgあたり0.4円とし四半期毎に支払います。(令和4年度 0.3円)

● 令和5年度良質乳生産対策奨励金交付事業【継続】

目的：消費者の「食の安全・安心」に対する関心の高まりから、組合員として良質乳生産が求められているため、良質乳生産確保のために奨励金交付事業を実施します。

内容：月2回(上旬・下旬)の配分検査において、基準値(脂肪率3.5%以上・無脂固形率8.4%以上・細菌数10万/ml未満・細胞数30万/ml未満)を年間通してクリアした組合員に対し、出荷乳量に応じて交付します。交付単価はkgあたり0.4円とし年度終了後に支払います。

● 乳質改善共励会

目的：消費者の牛乳乳製品を始めとした「食の安全・安心」に対する関心の高まりから、食品の安全確保に向けた取り組みが求められております。

こうした中、酪農業の発展と酪農経営の安定を図り、新鮮で良質な生乳を乳業者に供給すると共に、生乳の広域流通にも対応し得る乳質向上により、生乳の有利販売に繋げることを目的に共励会を実施します。

生乳の品質検査を行い品質優秀な生産者を表彰し、生乳品質の改善意欲の高揚を図るため、乳質改善共励会を実施します。

内容：本組合へ年間を通して生乳を出荷している生産者で、バルク乳(4月1日～3月31日までの12ヶ月間)の検査成績により採点します。4月から3月までの生乳検査成績24回に基づき、配点表による得点により審査。また、審査の結果、同点の場合には開催期間中の生乳出荷乳量の多い生産者を上位とします。

なお、下記に該当する生産者は審査対象外とします。

- 期間中に不合格(脂肪率3.5%未満、無脂固形率8.4%未満、細菌数10万以上、細胞数30万以上)の生乳があった生産者。
- 販売不可能乳等(廃棄事故)の発生があった生産者。生乳生産管理チェックシート記帳に係る不備があった生産者。
- 行政機関等より改善命令等があった生産者。牛舎環境の整理整頓がされていない生産者。

審査結果及び表彰：審査結果に基づく、表彰者・表彰は総会時に行います。

入賞者への褒章等：入賞者への褒章等については賞状・賞金等の授与を行います。

【入賞者への褒章等】

最優秀賞	1名	賞状・賞金 10万円
優秀賞	3名	賞状・賞金 7万円
優良賞	6名	賞状・賞金 5万円
努力賞		賞状・賞金 3万円

※努力賞は最優秀、優秀、優良賞以外の審査基準を年間通しクリアした生産者。

※賞金については、金額相当の購買品利用券を贈呈します。

購買課

● 良質自給飼料生産確保対策(草地簡易更新事業)【継続】

目的：近年の猛暑、大雨、台風の自然災害の発生や、震災後の除染から数年経過しており裸地や雑草が増えている状況です。このことから良質な粗飼料の増産と確保、粗飼料基盤の強化を目的に事業を継続します。

内容：正組合員を対象に春と夏の2シーズンに簡易更新機の貸出を行います。
希望者が多い場合はまとまった面積のある方を優先します。
利用料は1ha当たり5,000円(税別)とします。

● 購買品季節の支援対策【継続】

目的：夏場の猛暑による乳量の減少や乳質の悪化、また、冬場の寒さによる子牛の体調管理や事故防止を目的に、その季節に役立つ資材を紹介、供給します。

内容：夏場…重曹、ビタミンミネラル剤等のキャンペーン(5月～9月)
冬場…子牛用防寒着等のキャンペーン(11月～12月)

● 配合飼料利用に対する支援【継続】

目的：配合飼料の利用量別に応じた奨励措置を行い、購買事業の継続利用を目的に支援します。

内容：組合から供給する乳配、育成、乾乳用配合の前月購入量に応じた奨励措置を行うものとします。

奨励単価(税別)	前月購入量	
	① 5 t～10 t 未満	500円
	② 10 t～15 t 未満	800円
	③ 15 t～25 t 未満	1,000円
	④ 25 t 以上	1,500円

指導課

● 良質乳対策事業(バルク乳スクリーニング検査)の助成

目的：体細胞数による格差金が発生していることから、本来であれば酪農家に支払われる乳代金であり、この現状を軽減するため自己の生乳を検査し、それに対応した乳房炎対策を行うことで安定した収入の確保の実現と良質乳の出荷を目的とします。

内容：年度内4回のバルク乳を採取し、検体を共済組合にてスクリーニング検査を実施します。
1回当たりの助成金額は1,000円とします。

● 乳房炎ワクチン接種の助成事業

目的：乳房炎は、乳牛の疾病の中で、酪農家に対し最も甚大な損失を与えている疾病であり、生乳生産上の最も大きな損耗要因となっています。このことから、乳房炎ワクチン接種を行うことにより乳質の向上と収益の向上に資することを目的とします。

内容：初妊牛への乳房炎ワクチン接種後、助成交付申請書等(初妊牛と乳房炎ワクチン購入が確認できる書類)を組合へ提出してください。
1頭1回当たりの助成金は1,000円(3回を上限)

● 雌雄判別精液(Sort90)の助成事業

目的：雌雄判別精液を積極的に活用することで、乳用後継牛の確保に努めています。雌雄判別精液(Sort90)を授精した生産者へ助成することで乳用後継牛の確保と生産基盤の維持に資することを目的とします。

内容：自己所有の乳用種に判別精液(Sort90)を授精後、交付申請書と授精証明書の写しを組合へ提出してください。
1頭1回あたりの助成金額は3,000円とします。

※助成事業実施期間は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までです。
※毎月5日までに必要書類を組合へ提出願います。

乳価 kg あたり 10 円値上げへ

4/1～学乳・乳製品向け 8/1～飲用・発酵乳等向け

販売課

令和5年度の生乳取引価格の交渉は、生乳需給緩和状況が続き、積み増す乳製品在庫の削減が大きな課題となっている中、令和4年11月分より飲用(学乳向け除く)・発酵乳等向け乳価がkgあたり10円値上げされたことにより、小売価格が上昇し牛乳消費の落ち込みが懸念される状況にありました。

しかし、生産現場では配合飼料等生産コストの高騰により、酪農経営を取り巻く環境が悪化し、未曾有の危機的状況に陥っていることから、kgあたり15円以上、値上げ時期は6月取引分からの改定に向けた交渉が行われ、大手乳業者から8月分より飲用(学乳向け除く)・発酵乳等向けkgあたり10円の値上げの回答があり、東北生販連では不本意ながらその回答の受け入れを決定し合意に至りました。

学乳向け乳価については、昨年東北生販連および当組合が宮城県に対し、乳価の期中改定に向け要請を行っておりましたが、今般、令和5年4月分より学乳・乳製品向けkgあたり10円の値上げが決定され、全用途の乳価の値上げが決定しました。

年次別・月別支払乳価一覧(補給金・集送乳調整金を含む)

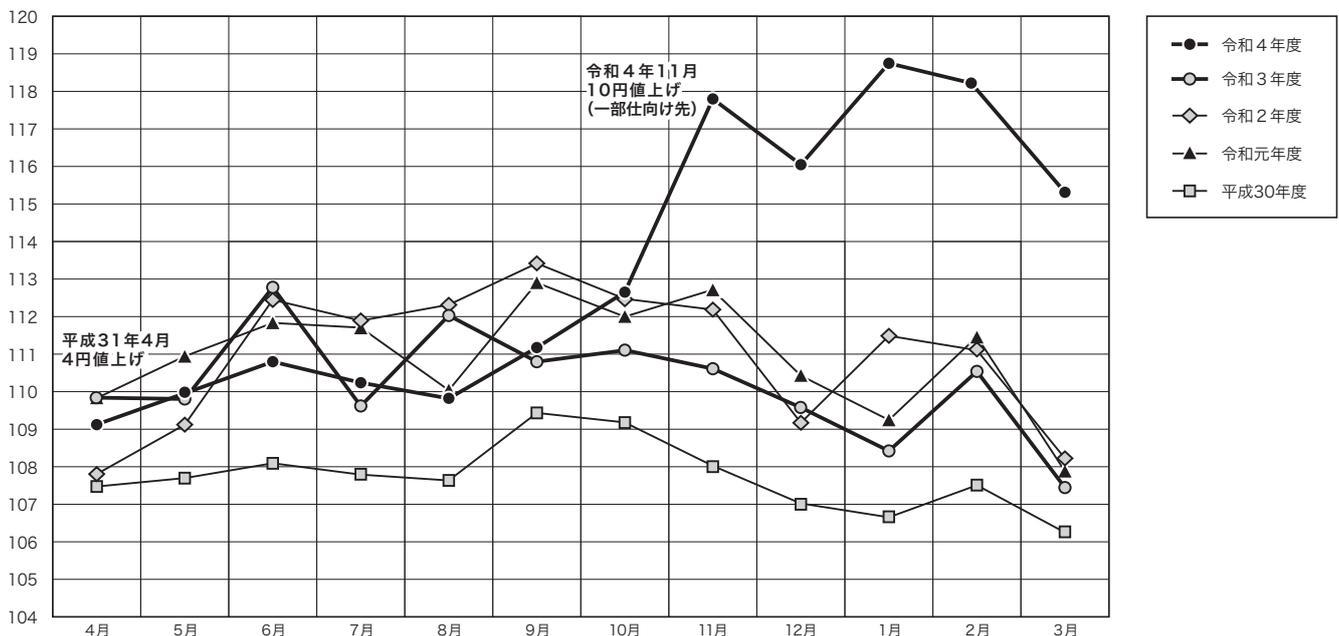
(単位:円/kg)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	109.084	109.997	110.856	110.335	109.931	111.213	112.678	117.884	116.123	118.848	118.305	115.362	113.385
令和3年度	109.846	109.811	112.834	109.626	112.073	110.824	111.105	110.655	109.599	108.469	110.563	107.484	110.241
令和2年度	107.822	109.121	112.471	111.912	112.340	113.452	112.498	112.208	109.173	111.505	111.119	108.218	110.987
令和元年度	109.834	110.957	111.852	111.725	110.046	112.928	112.019	112.741	110.437	109.246	111.480	107.871	110.928
平成30年度	107.462	107.688	108.086	107.781	107.685	109.437	109.182	108.016	107.009	106.636	107.496	106.229	107.726

※成分加算は含まない

みやぎの酪農乳価

(円/kg)



新たな検査項目が加わり、牛の栄養状態を判断する指標が増えました。

①FFA（遊離脂肪酸）

- ・Free Fatty Acid = 遊離脂肪酸の略で、生乳の風味を測る指標であります。
- ・2.0mmol/100gを超えると風味異常(ランシッド臭)のリスクが増大します。
- ・生乳の過度な攪拌等は、脂肪分解酵素がはたらき脂肪球膜が破壊されることで風味異常につながります。

②BHB（β-ヒドロキシ酪酸）

- ・乳中ケトン体は、栄養不足を判断する指標であります。
- ・0.13mmol/ℓを超えるとケトーシスを疑う目安になります。

③FAO（脂肪酸組成）

(1)デノボ脂肪酸(DnovoFA)

- ・炭素数の少ない粗飼料由来のものです。
- ・粗飼料の摂取量が不足している場合、割合が少なくなります。

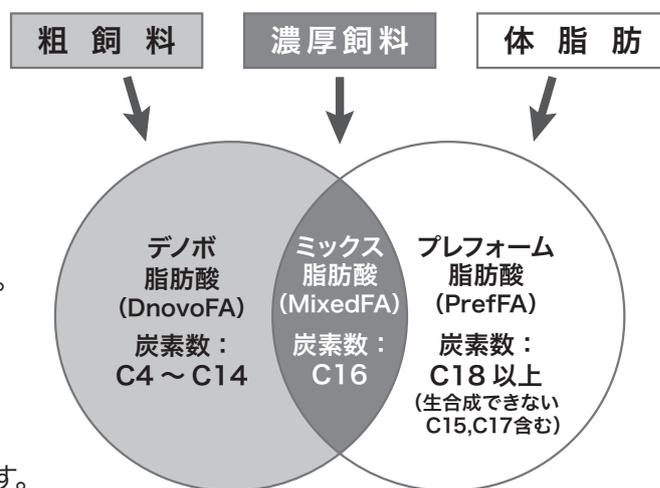
(2)プレフォーム脂肪酸(PrefFA)

- ・炭素数の多い濃厚飼料や体脂肪由来のものです。
- ・栄養不足で体脂肪を動員している場合、割合が高くなります。

(3)ミックス脂肪酸(MixedFA)

- ・デノボ脂肪酸とプレフォーム脂肪酸の中間のものです。

【脂肪酸は、炭素の数によりどこ由来のものかがわかります】



【新たな生乳検査成績報告書の表示】

検査項目等		
細菌		万/ml
細胞数		万/ml
乳脂肪分	3.58	%
無脂乳固形分		%
乳蛋白質		%
乳糖		%
MUN		mg/dl
浸透圧		mOsm
① FFA		mmol/100gFat
② BHB		mmol/ℓ
③乳脂肪中の割合を示したもの	D n o v o	0.99 %
	M i x e d	1.15 %
	P r e f	1.44 %
③FAO(脂肪酸)中の割合を示したもの	D n o v o F A	27.95 %
	M i x e d F A	31.56 %
	P r e f F A	38.66 %

PAG検査について

酪農経営にとって乳牛が妊娠することは、生乳を搾る上での必要条件であります。乳牛が妊娠し、分娩して初めて生乳生産が開始されます。より多くの妊娠牛を確保することが、酪農家の数ヶ月先の経営状況を左右する要因になります。乳牛の妊娠診断は、直腸検査法、携帯型超音波画像診断装置を用いた診断、ノンリターン法があり、今回は乳汁中妊娠関連糖蛋白質(PAG)測定による乳牛の早期妊娠診断の新たな繁殖への取り組みを紹介します。

1. PAGとは

PAG (Pregnancy Associated Glycoproteins:妊娠関連糖タンパク)とは、妊娠時のみ胎盤より分泌される糖タンパクのことです。

乳汁中のPAGレベルを調べることにより、妊娠または空胎の確認(あるいは妊娠継続確認)が可能になり、妊娠確認の指標として有用であります。

2. PAG検査可能な時期

PAG検査は、**分娩後60日目以降**かつ**人工授精後28日目以降**より妊娠確認が可能です。
※最終的な判定は獣医師の指導の下、総合的な判断が必要となります。

3. PAG検査と直腸及びエコー検査の比較

	PAG検査	直腸・エコー検査
メリット	時間等を問わず検査依頼可能	妊娠・空胎以外の情報も取得可能
デメリット	取得情報は妊娠と空胎のみ	獣医師の往診必須

4. PAG値の動きについて

- ① PAG濃度は、授精後25日前後から上昇しはじめ、分娩時に最大となります(図1)。妊娠・空胎の判断は、PAGの分泌が活発化する授精後約28日目以降から可能です。

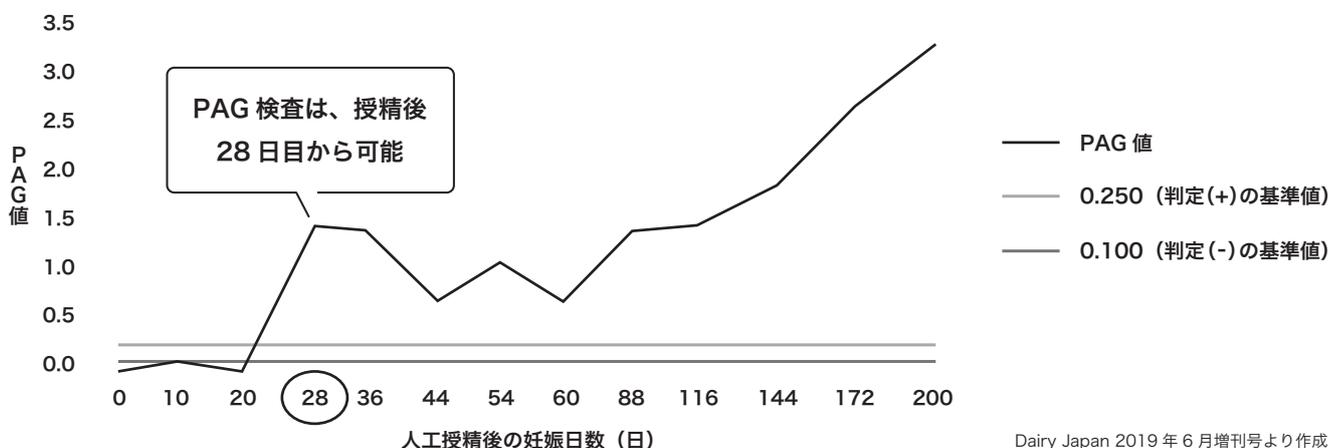


図1 妊娠中の乳汁中のPAG値の推移(イメージ)

- ② 分娩後は、PAG値は一気に低下せず、徐々に低下します(図2)。そのため、流産直後は、+や±と判断される場合もあります。

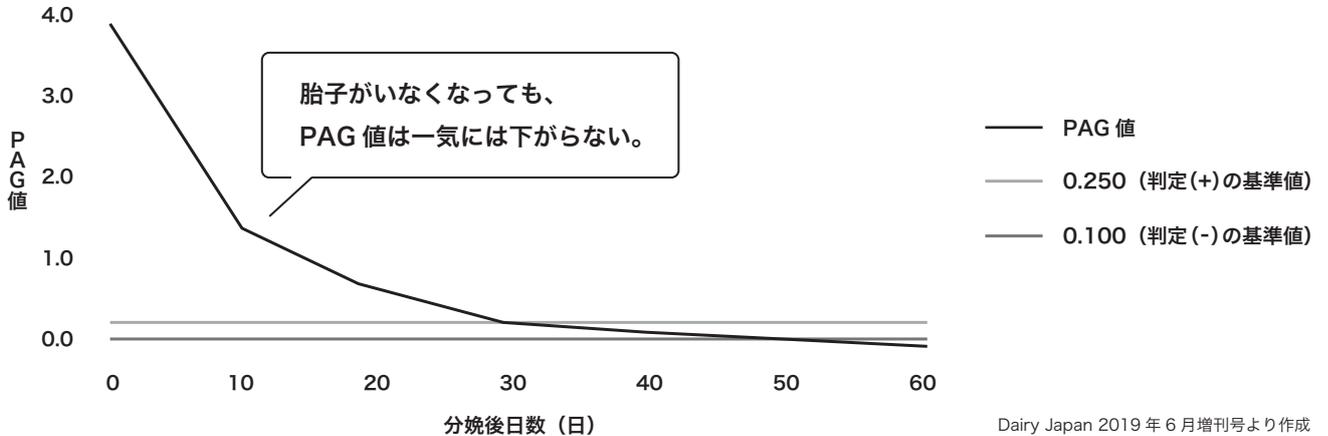


図2 分娩後の乳汁中のPAG値の推移 (イメージ)

5. PAGの上手な使い方

最大の強みは、授精後28日目から**“空胎”**をチェックできる点です。再授精までの間隔が短くなり、結果的に空胎日数も短縮傾向にあります。

PAGによって空胎牛が早くわかるようになり、発情対象牛を絞り込めることができるので、授精後の再発情を見逃すことが少なくすることが可能です。「発情発見するに人手がもう一人増えた感覚」でPAG検査を活用し、空胎日数の短縮に繋がってください。

6. 関東管内でのPAG検査実施状況について

(2022年4月～9月 n=3,689)

- ① 人工授精後28日～41日は、「早期に空胎牛を発見し次の授精へつなげる」ことを目的として実施している傾向にあると考えられる。(実施率49.7%、陰性率40.9%)
- ② 人工授精後42日～55日及び56日～71日は、獣医師によるエコー等による妊娠継続確認が中心で実施され、PAG検査による確認の実施率は1割程度(12.3%～15.4%)に留まっている状況にあると考えられる。
- ③ なお、陰性率は人工授精後42日～55日で39.0%、56日～71日で24.7%であり一定程度流産(早期胚死滅等)が発生しているものと考えられる。
- ④ 人工授精後72日以降は、再度PAG検査による妊娠継続確認が実施されているものと考えられる。(実施率22.6%、陰性率11.9%)

いよいよ組合活動が本格的に再開されました！

指導課

新型コロナウイルス感染症が全国的に流行したことを受け、本組合はこれまで感染拡大防止対策を最優先に組合活動及び支部活動を控えていただくよう声掛けをし、その間組合員同士の交流・情報交換の場を設けることができない状況が続いてきました。しかし、5月からの新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、十分な感染症対策を行った上で、今年度より各活動が再開されることとなりました。

活動再開に先立ち、4月4日の加美支部から始まり、5月25日時点で11支部の総会が対面にて開催されました。4年ぶりの総会ということもあり、組合員の方々は積極的に参加されていました。



今回の支部総会を皮切りに、今後は各支部をはじめ青年部・婦人部の行事や

共進会などといった様々な行事や活動が行われることが予想されます。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行い、各活動に参加していただくようお願いします。



みやぎの酪農家を応援！ 牛乳消費拡大キャンペーンを実施しました！

販売課（牛乳普及協会）

県単事業を活用し、不需要期の12月28日～2月17日の期間で「牛乳ごくごくキャンペーン」を実施しました。

告知はテレビCMやSNS、県内量販店及び道の駅等の計207店舗にチラシ等設置のご協力をいただきました。

内容は、対象となる県産牛乳9商品を購入し、牛乳パックの原材料表示等を集めて応募すると、豪華賞品(宿泊クーポンの他、仙台牛等の県産品)が抽選で2,000名に当たる企画で、応募総数は7,186件ありました。

また、応募者からは、「酪農家の苦労を伝えるニュースを見て、私にもできる事をと応募しました。この困難を乗り越えて、美味しい牛乳を生産し続けてください。」など多数応援メッセージをいただきました。



牛乳普及協会

ホームページのリニューアルについて（お知らせ）

販売課（牛乳普及協会）



リニューアルの内容は主に、トップページに写真やミルクジャパンキャラクターを使用した明るいデザインに加え、牛乳・乳製品を利用したレシピ紹介などデザイン及び構成を一新いたしました。

また、新たに動画を閲覧できるコーナーを設けて、白石・七ヶ宿支部・(株)エムエスファーム様に協力いただいたテレビCMの配信やスマートフォン等での閲覧にも対応しております。

当協会は、より多くの消費者に牛乳・乳製品の魅力、理解醸成及び消費拡大に繋がるような情報を発信してまいりますので、組合員の皆様も是非ご覧ください。



下記のURL又は右記のQRコードを読み取りチェック！
<https://www.miyagi-milch.jp/>



北米コンテナ船情勢

アメリカ西海岸の海運情勢は概ね安定した本船スケジュールで運航されています。特にロサンゼルス・ロングビーチ港では景気後退と、未だ合意しない北米西岸港湾労使交渉を敬遠し、コンテナ貨物の輸入を東海岸にシフトしているため、両港の今年2月のコンテナ取扱数量は昨年2022年2月に比べ38%減少しています。

海上運賃は、海運情勢の落ち着きと連動するようにピーク時より軟化しており、感染拡大前の水準に近づいています。一方でカナダ産チモシーの出荷拠点となるカルガリーでは、中国を中心とするアジアからのコンテナ輸入量が減少しており、空コンテナ不足により船腹予約が難しく出荷遅延が増加しています。

輸入粗飼料

①アルファルファ

(ワシントン産)

歴史的な高値により輸出向けの荷動きは、低調なものとなっています。日本・韓国向けだけでなく、安定的に出荷が続いていた、中国向けも高騰する産地相場と為替の影響(中国元安)を背景に、出荷ペースが鈍化しています。これまで上級品中心であった中国向けの需要は、安価な中級品にシフトする動きも見られています。

近郊の酪農家向け需要は、軟化傾向にある米国内乳価の影響を受け、高騰したアルファの給与を減少させ、相場が落ち着いているトウモロコシやストロー類の給与を増やし、コスト低減に努める動きも見られています。

23年産の作付面積は前年比で同水準か微増する見込みとなっている反面、直近の国内外の需要減少に加え、早魃も改善されていることから、中国向けの需要次第ですが、23年産の産地相場は22年産よりも軟化することが期待されています。

②チモシー

(US産)

産地相場が高騰した影響で日本・韓国といった主要国の需要が著しく減少し、多くの輸出業者で22年産の在庫を新穀に繰り越すことが見込まれています。

他方で23年産の作付面積は主産地である、ワシントン州コロンビアベースンとキティタスバレーで前年並みになることが予想されています。23年産の作況が平年作となった場合、22年産の繰り越し在庫を含め供給が潤沢になることから、産地相場は22年産のピーク時よりも軟化することが期待されています。

(カナダ産)

主産地アルバータ州では、冬期に大雪や最低気温が -20°C ~ -30°C となった日もあり、工場への原料草搬入が滞り、生産が大幅に遅延しましたが、直近は天候も落ち着いており、生産は安定しています。

23年産については主産地のひとつである、クレモナ地区で2月まで深刻な早魃となっていました。生育期である今後5~7月の降水量が例年並みの予報となっており、今後の天候に注視が必要です。

③豪州産オーツヘイ

豪州では23年産の播種前に輸出業者と生産農家の間でオーツヘイ買付けにおける仮契約の交渉が進められています。小麦などの穀物相場が軟化していることや、国内外からのオーツヘイの引き合いが増加していることから、西豪州では23年産オーツヘイの作付面積は前年比10%程度増加することが見込まれています。南豪州・東豪州については、23年産は前年と同程度の作付面積となることが予想されています。

一方で、この先の生育期に例年よりも乾燥した天候となることが全豪的に報じられており、早魃は単収が減り生産量に影響を及ぼすため、今後の天候が心配されています。

酪農後継者等育成支援

指導課

本組合では、後継者就農促進支援として就農祝金を贈呈しております。
令和4年度に就農された方をご紹介します。



【白石・七ヶ宿支部 鈴木 舞奈さん】
(組合員 鈴木 正高さん)



【柴田支部 星野 雅彦さん】
(組合員 柳沼 美枝子さん)



【組合員 栗原支部 三浦 幸治さん】

人事のお知らせ

総務課

【令和5年4月30日付け】

仙南支所指導係(兼)業務係 半沢たみ子さんが退職されました。長い間ご苦労さまでした。

理事会通信

総務課

【第13回理事会】

開催日 令和5年3月30日

- 付議事項
- 第1号議案 令和4年度決算基準(案)について
 - 第2号議案 総務委員会及び業務委員会からの答申について
(令和5年度事業計画(案)について)
 - 第3号議案 理事会推薦理事候補者の推薦について
 - 第4号議案 役員賠償責任保険への加入について
 - 第5号議案 令和5年度借入金の最高限度の決定について
 - 第6号議案 令和5年度貸付金の利率の最高限度の決定について
 - 第7号議案 令和5年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、初妊牛リースの額、畜産環境整備リースの間接リースの額及び畜産近代化リースの額の合計額)の最高限度額の決定について
 - 第8号議案 令和5年度の余裕金運用について

【第1回理事会】

開催日 令和5年4月28日

- 付議事項 第1号議案 監事に提供する決算書類の承認について

【第2回理事会】

開催日 令和5年5月22日

- 付議事項
- 第1号議案 令和4年度決算監査にかかる監事監査報告について
 - 第2号議案 令和4年度決算書類の承認について
 - 第3号議案 通常総会の招集について
 - 第4号議案 定期賞与(6月期)の支給について

No.	支 部	販 売 者	出生年月日	分娩予定日	区 分
1	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	R3. 4. 9	R5. 7. 1	交雑種
2	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	R3. 7. 10	R5. 7. 21	交雑種
3	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	R3. 5. 26	R5. 7. 24	交雑種
4	白石・七ヶ宿支部	(有)ファームイチカワ	R3. 6. 28	R5. 7. 31	交雑種
5	登 米 支 部	佐 藤 勝 雄	R3. 6. 23	R5. 7. 23	交雑種
6	登 米 支 部	佐 藤 勝 雄	R2.11. 24	R5. 8. 9	交雑種
7	登 米 支 部	佐 藤 勝 雄	R3. 2. 16	R5. 8. 28	交雑種
8	登 米 支 部	佐 藤 勝 雄	R3. 3. 8	R5. 9. 7	交雑種

[編 集 後 記]

本誌は従来、奇数月の中旬頃に発行しておりますが、今号の発行が遅れてしまい、心よりお詫び申し上げます。

さて、誌面でも触れておりますが、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、今月8日に季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。マスク着用も3月13日から個人の判断に委ねられておりますが、以前のような日常を取り戻しつつ、感染防止対策を継続して行わなければと存じております。

また、組合員の皆様におかれましても、引き続き、感染防止対策のご協力をお願い申し上げます。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)

.....